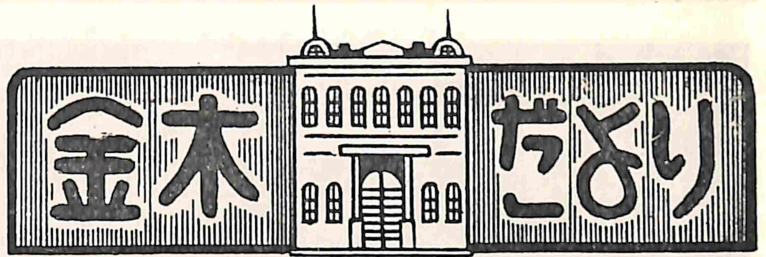


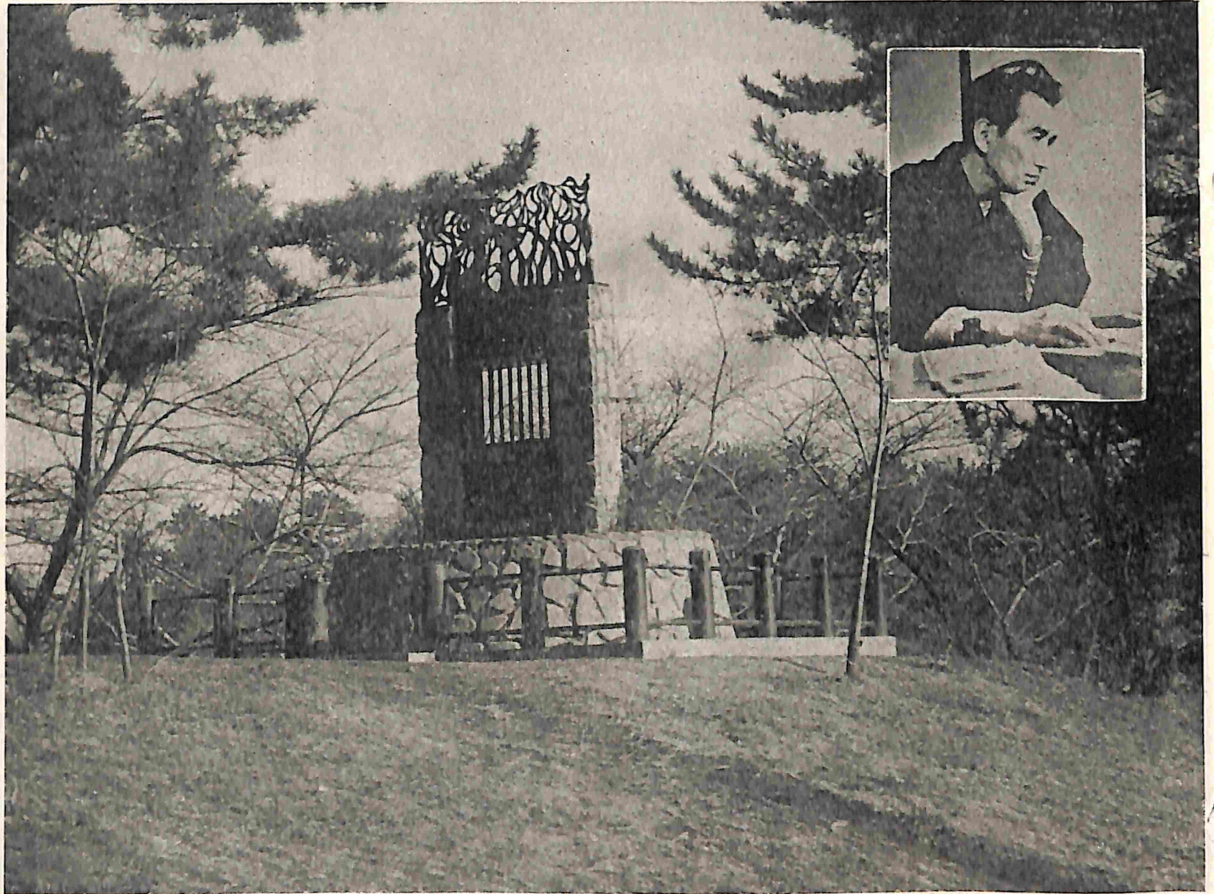
人のうごき

s 48. 2. 28 現在

| | | |
|-----|--------|-------|
| 世帯数 | 3,514 | |
| 人口 | 15,017 | |
| 内 | 男 | 7,437 |
| | 女 | 7,580 |



発行 青森県金木町役場 編集 企画室



太宰碑を見守る

大寒の芦野湖畔

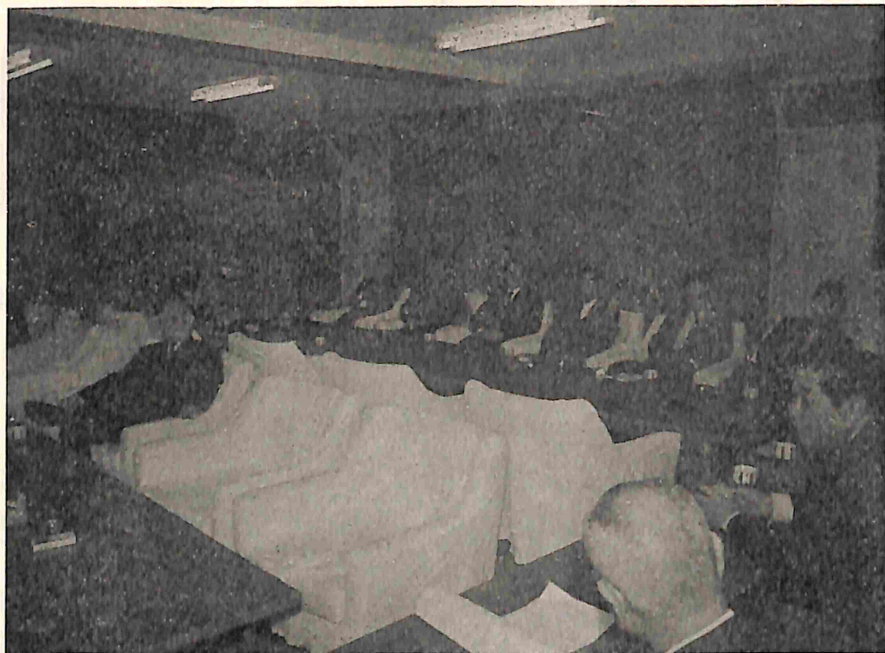
陽ざしも爽やかな、恰も、みちのくの「春」を想わせるような一月二十三日の午後、大寒とはいえ芦野の湖水もまさに温みかかるかの如き感覚をもたらしたのも、芦野の湖畔、登仙岬の一角にひときわ目立つ、太宰文学のいしぶみ(碑)であった。

異変な暖冬と言われた、天然的な気象現象とはいささか異なり、季節的にも、碑の周囲を支える花壇だけは「はる」尚早、と感じられたものの、いつとなく変らぬ、しようしやな容姿、生涯をとおしての過去さえ想像できそうな、独特の色彩をもつ碑をまのあたりにつくづく、太宰のおもかげを偲はざるを得なかった。

(広報担当者雑感)

町政振興懇談会

中央公民館、喜良市小建設などが中心に



町では一月二十五日、町議会議員を主軸とした、町政の円滑な運営と振興をはかる目的で町選出県議会議員花田一、原田一実両氏をオブザーバーとして招き、金木町政振興懇談会が開かれました。席上、三上町長と工藤総務課長から、町の振興計画と財政事情の概況報告があったあと懇談にはいろいろの活発な、しかも建設的な構想が具備された意見がもちだされ、なかでも中央公民館、喜良市小学校建設の早期実現などが積極的に促がされていきました。これに対して三上町長は、各位のご協力を得て極力実現に努力すると話していました。また、両県議会議員も地域の産業振興はもちろん、当町の発展開発振興には鋭意努力を注ぐ覚悟である、と話していました。



観光地の開発整備と

観光事業の振興などを目的に

金木町観光協会が

設立されました。

会長に三上武男町長

金木町における観光地の開発整備と観光事業の振興を図り、産業文化の発展向上に寄する目的で

一月二十日、町役場において設立総会を開き、規約の制定および役員

の選出について協議の結果、役員は次のとおり選ばれました。

▽副会長

木村金利、高橋元弥

▽理事

長内誠治、其田輝夫、太田昌二

野呂正、中西慎一、木村金利、

沢田茂、今久米雄、白川兼五郎

木村不二男、竹内武六、藤井徳

義、田中豊蔵、田中勇吉、川崎

勝巳、相馬京子、今松雄

▽顧問

花田一、原田一実、秋谷清逸、

新岡守一、原直次郎

▽会長

三上武男

▽監事

柴田秀雄、中谷正、中谷金四郎

地震の心得

10か条

- ① すばやく火の始末
- ② あわてて戸外にとび出さず、まず丈夫な家具などに身を寄せる
- ③ 1分すぎたらまず安心
- ④ 火が出たらまず消火
- ⑤ 避難は徒歩で、持物は最小限に
- ⑥ 狭い路地、へいざわ、がけや川べりに近寄るな
- ⑦ 山津波、がけ崩れ、地すべりに注意
- ⑧ 海岸では津波、低地では浸水に注意
- ⑨ 余震を恐れず、デマに迷うな
- ⑩ 秩序を守り、衛生に注意

金盃を贈り

自治功勞、特別功勞、善行者など

五十三名を褒賞しました。

町では、金木町褒賞規則に基づき、四十七年度の褒賞審査会（会長野宮雄造）を開き、慎重かつ厳正な審査の結果、三月一日午前九時より金木町役場において、つぎのかたがたが褒賞されました。

▽褒賞された、部門ごとのかたがたはつぎのとおりです。
 通算十二年以上の元町議会議員
 米谷甚九郎、中村健司、内海精蔵、泉谷勝雄、大橋勇五郎、竹内左右工門、工藤源三郎、三上政雄、白川直義、中村本真、外崎惣五郎

通算二十年以上の元町職員
 白川嘉四太郎、中谷藤太郎、木立民五郎、今久米雄、成田勇蔵、今豊成、吉崎忠直、米谷甚九郎、三上菊次郎、津島正次郎、伊藤清慈

白川長吉、田中与助、外崎ヨシ、岡田サダ、岩村桑太郎、阿部アゴリ、小山内繁四郎、中谷新一、伊藤定五郎、松江伊三郎、三浦禪雄、白川重一、田中長右工門、工藤勇義

▽特別功勞者（一）内は事項内容
 △山中礼一（旧嘉瀬村長時代村道の新設、また原野をりんご園に造成、さらに荒廃地を山林にするなど現在の嘉瀬の基礎づくりに寄与された功績）

▽中谷与右工門（町議会議員、農業委員、民生委員のほか数多くの要職を歴任し、常に川倉部落の指導者として手腕を発揮し、特に土

地改良区理事長時代には農業構造改善事業の計画立案し、近代農業の基礎確立に寄与された功績）

▽片岡八千雄（永年文化服装学院長並びに幼稚園園長として私学振興に専念し、服装文化の改善により地域の発展に寄与された功績）

▽今与八郎（多年金木自動車学校長として幾多の優良運転者を養成し、交通安全教育に専念され地域の発展に寄与された功績）

▽丹場多左工門（津軽特産のひばを素材に曲物を近代感覚にマッチさせ、独得な創意工夫をこらし広

く海外まで名を広め、地域産業の発展に寄与された功績）



▽瀬尾善朋（津軽特産のひばを素材にアイヌこけしを創作好評を博し、地域産業発展に寄与された功績）

▽吉田与七郎（永年農業に従事、水稻の品種改良に専念し、また、献穀祭に青森県代表として参列するなど地域農業振興に寄与された功績）

▽吉田敏正（永年交通安全協会役員として参画、昭和四十三年交通指導隊長として陣頭指揮に当り、地域交

通安全対策に寄与された功績）

▽菊地鉄雄（多年交通指導隊長として交通指導に当り地域交通安全対策に寄与された功績）

▽金木地区交通指導隊金木中隊（昭和四十三年交通指導隊発足以来、交通指導、警察の取締りに協力し地域交通安全対策に寄与された功績）

▽小野寺勝之進（永年のりす製造業を経営、これを家内工業として、未亡人、老令者、身障者等を広く採用、地域職業の安定に寄与された功績）



▽木下清一（昭和三十三年出かせぎの父と子を結ぶP・T・A文集「かけはし」を発行以来、卒先して編集、製作に当り、明るい家庭村づくりに寄与された功績）

▽嘉瀬小学校P・T・A広報常任委員会（昭和三十三年出かせぎの父と子を結ぶP・T・A文集「かけはし」を発行以来、企画、編集発行および発送に尽力、明るい家庭、明るい村づくりに寄与された功績）

▽嘉瀬下新町子供会育成会（昭和四十五年子供会育成会を結成、廃品回収などにより資金を得、子供の遊び場を工費八万円を投じてつくったほか、各種施設を自費で整備するなど児童の健全な育成と不

良化防止に寄与された功績）

▽白川豊太郎（旧川倉農協創立当時自家所有の倉庫二棟を無償提供自ら農協役員として今日の農協発展に寄与された功績）

◎善行者
 西堀久弥（昭和四十七年十一月十五日旅行の帰途、五能線の土砂崩かきによる線路の埋没箇所を発見、直ちに列車の停車手配をとるとともに最寄りの駅へ通報事故の発生を未然に防止した功績）
 白川きせ（豊かならざる生活の中で血縁のない老女を生活扶助も施設への収容も断わり三十余年間にわたり扶養してきた善行は他の模範とする事蹟）

金木営林署

救急養成講習訓練の実施

伐採作業重傷者の救助を想定に

金木営林署（署長児玉篤臣）では、二月十六日、金木消防署と合

同で、万一の救急事態発生に備えて署および各事業所、現場に救助訓練の養成された有資格者を配置し、敏速な救助措置ができる体制をとってまいります。この体制を一層強化するために、救急養成講習訓練を実施しました。

想定

二月十六日午前九時三十分頃、金木営林署喜良市山製品事業所管内の大松沢で、常用作業員生産手A（39才）が、チェーンソーを使用し、ひば立木を伐採中、伐倒木のはね返りにより、右大腿部の骨折と腰部を強打受傷し、出血が多量に見うけられ生命にもかかわる危険な状態である。との通報であった。

連絡および救助経路

金木営林署では事業所からの通

報により、速やかに一一九番を通じて救急車およびジープ、積雪がはなはだしいため雪上車の出動を要請した。金木消防署の救急班はただちに現場に向って出動した。雪積が多いため救急車は事業所前まで（約百メートル）を営林署救急員に待機し、大松沢事故現場から車道まで（約百メートル）を営林署救急員のスノーボートで救出し、車道においてタンカに移し、更に途中まで来た雪上車に移乗させ事業所前

④ 負傷者の容態見分



⑥ タンカへ移す



で救急車によって病院に向った。営林署の救急員をはじめ各救急出動員の活発な、しかも沈着な行動により、事故発生現場から約十六キロのところをわずか二十分程度で病院まで輸送し、受傷者の一命がとりとめられたこととなった。この日救助に出動した金木営林署長、管理官以下二十名の救急員の行動と表情は、訓練とは思われない緊張感があふれていました。

② 現場からの救急員たち



③ 救出スノーボート



⑤ タンカづくり



⑦ 雪上車へ向う



⑩ 救急車 病院へ向う（出発）



⑨ 救急車へ移す



⑧ 雪上車へ移す

「おみやげ」どっさりもって

考人クラブ慰問を

大喜びのお年よりさんたち

金木、花扇舞踊研究会

十二分に 腕を 熟達された手

(円内は中西会長)

さる、一月二十一日午後一時から、金木町の花扇舞踊研究会(会長中西清逸)では、金木町老人ホームを訪ずれ、これまで地域社会の進展にご尽力なされてきたお年寄りさんたちの余生を、いくらかでもねぎらうことが多額にのぼるプレゼント



できればと考え日頃の研究と練成により同クラブに寄附し、ふたたび感謝されています。

二つの善意

総会後のパーティーで

保育所、

老人クラブなどに

多額の寄附金を贈る

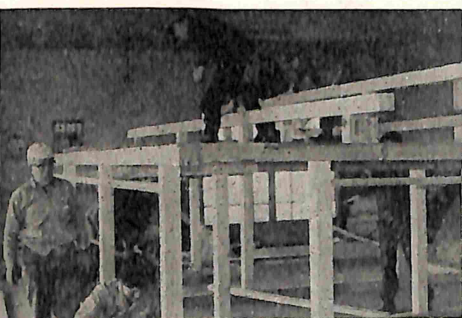
金木美容組合

金木美容組合(会長大橋みん)では、さる一月二十九日、金木農業協同組合大会議室において、昭和四十七年度の総会を開き、総会

終了後、おくれた地域社会の公共施設の拡充と充実の一助ともなれば、とのことから、ダンスパーティーを催し、その収益を、つぎの各施設に役立たせてくださいと、組合を代表して、大橋みんさん、榮利礼さんが町役場民生課を通じて寄附金を持参いたしました。

このご協力に対して町当局は、各種事業の振興にともなう施設に

- ▽金木町立第一保育所(金木) 一金 五千元
- ▽金木町立第二保育所(金木) 一金 五千元
- ▽ 第三保育所(嘉瀬) 一金 五千元
- △ 第四保育所(喜良市) 一金 五千元
- ▽ 川倉児童館(川倉) 一金 三千元
- ▽金木町老人クラブ連合会 一金 三千元
- ▽金木文化服装学院 幼稚園 一金 五千元



素質を活かした

大工さん、鉄工技術者に

なろうと一生懸命

県立木造専修職業訓練校

金木分校

金木共同高等職業訓練校(校長太田昌二)では、地域の産業振興を旨とし、現在の訓練校をなお一層充実した施設の増設、また教材用機械、器具の整備拡充をはかり、県立木造専修職業訓練校金木分校を併設しました。

中央都市産業の一時的な収入に興味をもち、あるいは新都建設造成作業に雇われ、郷里を離れてゆく一家のあるじ、また、若者たちの都会をあこがれての流出など、今後の地域開発対策にどのような影響をもたらすものでしょう。

鉄工部門の熔接関係は昨年より建築部門は本年一月より開業三月まで三ヶ月間専修訓練されるわけです。鉄工部門では岡部由正講師建築部門では成田良一講師と、優秀な先生方が訓練指導に当たるため修了期間三ヶ年で一人前の鉄工技術者、あるいは建築技術者になれるわけです。

生活費を理由とした遠距離就労による、家族の別居生活を解消するためにも、このような訓練施設で技術を身につけ、将来の安定した生活が営まれないものでしょうか。真剣な訓練指導シーンを写真で紹介します。

48年4月1日から実施

慰謝激励金等を支給

遺児となった児童を対象に

金木町では、遺児援護対策の一環として、遺児の健全な育成と福祉の増進をはかるため、原因の如何を問わず次の要項により、弔慰金、入学祝金、卒業祝金、慰謝激励金等を支給します。(民生課)

■実施時期 昭和48年4月1日
■遺児の範囲
一、「遺児」とは、義務教育終了前の者で、次のいずれかにか

- (1) 父又は母が死亡した児童
- (2) 父又は母の生死が引続き三ヶ月以上明らかでない児童
- (3) 父又は母に引続き一年以上遺棄されている児童
- (4) 父又は母が婚姻を解消した児童
- (5) 父又は母が心身の障害により労働能力を失なっている児童
- (6) 母が婚姻によらないで懐胎し

納め忘れはありませんか

国民年金保険料

三月……もうすぐ春です。さて三月は年度末ですが、昭和四十七年度分の国民年金保険料は納めてしまいましたでしょうか。皆さんも、新聞、テレビなどでご存じかと思いますが、今度、国民年金が大幅に改善されることになり、「夫婦五万円年金」が実現することになります。

体の不自由な人へ

六十五才から福祉年金を支給

皆さんとなり近所や知り合いの人で、体の不自由な人はいませんか。体が不自由で生活するのが困難な人には、普通の人より五年早い六十五才から福祉年金が支給されることになっています。

これでは、せっかくの年金も「絵にかいたモチ」になってしまいます。

将来、となり近所の方たちが、高い年金をうけ安心した生活をしているのに、自分だけが低い年金

た児童

- 支給額
- 一、入学祝金
 - 小学校 遺児一人につき、五千円
 - 中学校 遺児一人につき、五千円
- 二、卒業祝金
 - 支給時 入学する年の四月
 - 全遺児一人につき、五百円
- 三、弔慰金
 - 父又は母が死亡した時、一世帯につき、一万円
- 四、慰謝激励金
 - 全遺児一人につき、五百円

農繁期にそなえて

日頃の健康管理を大切に

そろそろ農作業が始まりますが、〇忙しくなると、主婦が忙しいと、どうしても家事や育児がおろそかになります。僻地の子供が小さいのは忙しくてかまってもおろそか、離乳時期が遅れてしまうことが大きな原因。

☆離乳期とぶつかるとなるような場合、前もって準備しましょう。

二、病気の人が、がまんしたため

〇忙しくなると、主婦が忙しいと、どうしても家事や育児がおろそかになります。僻地の子供が小さいのは忙しくてかまってもおろそか、離乳時期が遅れてしまうことが大きな原因。

☆慢性患者は今のうちに治療を三、働いた分だけの栄養が十分補給されなくなりやす。

☆「コイ」の献立や、共同炊事について相談は普及所へ。

四、疲労が蓄積されて潜在性の疾患(表に出ない病気)を生じます

☆疲れは、その人の最も弱いところに集中して現われるので、それを健康管理の目やすにしましょう。



消防署からの おねがい

火事、救急は 119番へ

生活時間のめやす (弘前大学 白谷教授)

| | 期(2週以上) 好ましい(2週以上) 農繁期(2週以上) | | 平常時 | |
|-------------------------|------------------------------|----|-----|----|
| | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 睡眠時間 | 6.5 | 6 | 8 | 8 |
| 食事(食生活) 休養(休息) 娯楽(余暇) 他 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 社会的(文化的) 時間 | 2 | 1 | 3 | 5 |
| 家庭 作業 | 0.5 | 4 | 1 | 2 |
| 計 | 24 | 24 | 24 | 24 |

※どんなに忙しくてもこれ以上はこえないようにする。

以上のようなことを考えて、労働力の調整をどうするか、省力出来る部門はないか — 作業の計画と合わせて、健康で過ごすための準備にとりかかきましょう。

金木地区農業改良普及所 生活改善班

- 1、火災を発見したら速やかに火災専用電話「一一九番」で消防署に連絡すること。
 - 2、火災の際、問い合わせの電話が非常に多く大変困ります。消防署では速急に連絡しなければならぬ関係機関が沢山ありますから、問い合わせ電話は、やめてもらいます。
 - 3、自家用車を利用しての火災見物者が非常にふえておりますが、消防車の優先通行等の道路交通法を守らなければ、消防活動を妨害することになり、法の定めにより罰せられます。
 - 4、あなたの家で消火器を用意してあります。
 - 5、老人、子供の寝室は火災があった時、すぐ逃げられる所に寝かせておきますか。
- 風呂釜は大丈夫ですか。
- 空気が乾燥して火事が出来やすい季節になりました。
- 「慣れた火元に新たな注意」

新しい電話取り付けの 申し込みについて

■金木電報電話局■

まだ電話を取り付けていない方で、局へ申し込みをしていない方にお知らせいたします。

金木局でも、年ごとに新しい電話を相当数取り付けておりますが、なかには、局の設備等の関係から困難で、ご不自由をおかけしている方もあり、なるべく早く設備をふやしてご希望にそよう努力しておりますが、それ以外の方で、電話をつけたい希望があり、まだ局のほうへ申し込みを済んでいない方について、当局として将

来の工事計画等いろいろ準備をしなければならぬ関係と、こうした方がたの意思をは握する必要から、早急に電報電話局へ加入の申し込みをされるようお願いいたします。

なお、申し込みの費用は一切不要ですから、印章お持ちのうえ、ご来局くださるようお待ち申し上げます。

問い合わせは、金木局二〇〇〇番（無料）へ。

嘉瀬小学校に

印度原産のコブラ寄贈

コブラとマングースの対決

原田県議の外遊おみやげ

をもつ標本と絶賛されています。

原田一実県議会議員は、外遊おみやげに、母校である嘉瀬小学校（校長佐々木広志）に教育資料の標本として、わが国では珍しい、印度原産のコブラと生存を争う、マングース（ねこ科の獣でいたちに似て、蛇を喰う）の死闘の場面を型どった剥製が寄贈されました。

動物学は勿論、これからの日本にとっては特に諸外国への開発援助指導、友交国の援助指導など、海外に派遣する若人たちにとっては、いろいろな動物の生態など、予備的知識を得るための貴重な存在



もうすぐ学校



新入学児童のいるご家庭では、今がいちばん心配のときです。

ピカピカ光ったランドセルは机の上においてあります。通学服もちゃんと自分でハンガーに掛けて、学用品ももう全部そろいました。それなのに、お母さんはまだひとつ心配があります。

「うちの子がみんなといつしよにやっつけてくるかしら……」ということですよ。

これまで幼稚園にかよっていたお子さんなら、幼稚園の同級生がまたいつしよになるというケースもありますが、そうでないときに初めて合わすお友だちの顔をみてこわがったり、学校ぎらいになることも考えられますので、よく先生とも相談したり、ご近所のお友

達の家へもたすねて話合い、お互いに気心を知らせ合っておくのもいいでしょう。

それから、小学校は保育所ではありませんから、最低これだけはお子さんの身につけさせておきたいものです。たとえば、

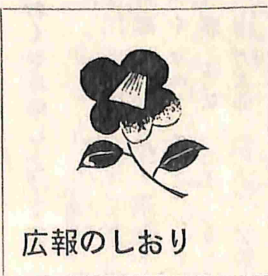
- ①自分の名前がわかる、書ける、読める、
- ②あいさつができる、
- ③ハイとイエエの意思表示ができる、
- ④ハンカチやチリ紙の使い方としまつ、
- ⑤自分の衣服の脱ぎ着ができる、
- ⑥用便がたせるといったこととがらです。

お子さんがたは、これまでと全く変わった環境にはいるわけですから、その生活に早くなれるように指導し、はげましてあげてください。

交通戦争

学校は、いま春休みですが、来月からは、いよいよ新学期が始まります。新入学児童も交通戦争の中にもまきこまれるわけですが、かわいらしい一年生が交通事故でけがをしたり、命を失ったりすることは、何としても防ぎたいものです。

三月です、官庁や会社の年度末学校の学年末です。サラリーマンのかたも、家庭をあずかる主婦の方も、いそがしさはふだんの倍にも感じられましょう。気候も変わり目に当たり、暖かくなったかと思つと、急に寒さがふり返ってきたりして、とかくからだに変調を起しやすいつ季節ですから、健康にはとくに注意しましょう。



えるばかりで、都会はもちろん豊山漁村でも、もはや安全地帯というところはなくなつたようですよ。そこでお母さん方にお願ひしたいのです。こんど学校にあがる一年生といつしよに一番安全な通学路を開発していただきたいのです。別に新しい道をつくるのではありません。どこをどう通れば安全か学校までの道路を実際に歩いてみていただきたいのです。

